

きれいめダウン&ノーカラーコート

専門店/レディス **12月**

売 **り** **場** **観** **測**



⑥ファーマフラーなどが合わせやすいことからウールコートはノーカラーを採る客が多い「ローズパッド」1万7640円、バラとゼブラ柄のコーディネートワンピース「モテル」1万1550円、ブーティはカシュアルなレースアップが良い「DGM」1万6590円
⑦アウターで健闘しているきれいめダウン1万4490円、ぼかしヒョウ柄のシフォンスカート8295円、ともに「ローズパッド」グループはカラフルなものをはじめレザーが人気「グローブズ」1万5540円(写真左)



ローズパッド新宿店



昨年人気のあったダウンコート1万9950円、ロングTシャツ5250円、ツイードスカートは今年期待のショッキングピンク8295円、すべて「ブランシュール」

ブランシュール心斎橋オーバ店



フリーズショップミネ新宿店

⑧コートが一番人気はノーカラーで袖にフォックスファーが付いたタイプ。ウール・アクリルのローピングコート「フリーズショップ」2万7300円
⑨抑えた価格が売りのフェイクファーコート1万4700円、引き続き人気のワンピース1万2390円、ともに「フリーズショップ」

厚手アウターが苦戦するなか、きれいめのダウンコートとノーカラーコートが健闘している。合わせるの是一款で傑出する柄ワンピースが中心。全体的に甘辛ミックスのスタイルが継続している。

アウターは3万円以内であることがポイント。「昨年より2000~3000円下げて中心価格は2万8000円前後」「11月中盤以降に急ぎよ2万円以下を投入した」といった声が聞かれる。
ワンピースはクリスマスが近いことも後押しし、単品ボトムがさえないこともあり、売れている。バラをはじめとする花柄のバリエーションが相変わらず良い。総レースブラウスとツイードスカート合わせたような

*価格は税込み

タイプや、パワーショルダー、オーバーサイズが動いている店もある。ボトムは薄手シフォンの柄物やドレープポケットなどのミニスカート中心で、フルレングスのパンツはさっぱり。雑貨はファーのティベットやマフラー、ニット帽、レザーグローブなど。ブーツは期待のサイドハイなどロング丈が不発で、ショート丈中心になっている。



クリヤハウス栄本店

ダウンジャケットにワンピースが人気。ショート丈ダウンジャケット「モンクレール」13万9950円、ベルト付きニットワンピース「プラーミン」1万5750円



イニシャルワントゥエルヴ

⑩フリンジとチェーンを斜めにあしらったサテンのプルオーバートップはこの冬の人気商品「スリック」1万4700円
⑪フォックスファー付きショート丈ウールコート3万9900円、フロッキーでドットを描いたサテンのワンピース2万5200円、ともに「マティエ」



フェイ・ヒストリー天神店

ボーダー柄の羽織りニット1万8795円、共布ベルト付きワンピース2万5200円、ともに「ジャンネケ」、白のスエードブーツ「n・d・e」5万9850円



KBFギャレ大阪店

オーバーサイズ気味でボリューム感があるドルマンスリーブジャケット1万5540円、アンゴラ混のニットワンピース6195円、チェック柄の犬判ストール4095円、ニットのペレー帽4095円、すべて「KBF」

11月の結果

寒くなった際に一時的に厚手コートが動いたもの、暖かい日が多かったことから全体的に鈍く、大幅な2ケタ減とした店が複数あった。消費意欲が薄れて客数が減っていることや、ファストファッションの影響で単価が伸びないこと、トレンドに大きな変化がないことなどを指摘する声が高まっている。ただ、なかには客数を10%減らしながらも、人気ブランドを積極的に打ち出すことでアウターの売り上げを前年比2倍として前年を死守した店もあった。

ローズパッド新宿店 11月下旬のアウターフェアを機に動き始めた、細身のダウンコートを引き続き押す。クリスマスに向けてパーティーコーナーも作る予定で、柄物のワンピースを中心に再入荷するノーカラーのファーコートや、ゴシック調のカチューシャなどを見せていく。ワンピースは普段使いできるのがポイント。売れ始めたカラフルなレザーグローブにも期待している。ニットインナーや靴でいつもより1カ月早く始めたプレセールも継続する。

フリーズショップミネ新宿店 月前半はコートでの最終売り込みに力を入れる。売れ筋のノーカラーのウールやツイード、価格訴求のフェイクファーなどを揃える。すでに春物も入荷している。「この間あまり変わらないスタイルに飽きかかっている」ので、淡い色合いの春アイテムで店頭を新鮮さを出す。立ち上が

●今月のアピール

りは薄色デニムのスタイリングを提案。顧客向けプレセールも行う。

◇イニシャル・ワン、トゥエルヴ 前半はショップイベントを開き、プレセールや春レザーの先行受注を行って来店促進を図る。コートは品揃え店ならではの価格とデザインの高さを活かせる。ワンピースはトレンドのパワーショルダー、ドット柄、セパレート風などが良さそう。強みのブラウスも旬の要素を取り入れたものに期待。中盤以降は梅春物を投入。春らしい薄めのカラー、レースや刺繍のデニム、小花プリントのウエアを揃えて新鮮さを出す。

◇クリヤハウス栄本店 引き続き「モンクレール」のダウンジャケットを主力

に、アウターで勝負する。顧客イベントも開いてブランド目当てのふり客だけでなく、固定客に向けた訴求を強める。スタイリングはワンピースを主力に、人気上昇している*レギパン。などを前面に打ち出す。

◇ブランシュール心斎橋オーバ店 先月から動きの良いダウン商品の販売を強化する。型数は前年より多い5型を揃える。表地が合皮のスタンドカラータイプや、昨年人気だったリブ袖のポリエステルジャケット、ラクーンファーとベルト付きのロングコートなど。ロング丈のセーターと一緒に提案して、セット率アップにつなげる。また、小物のバリエーションも増やして、セットで販売する。

◇KBFギャレ大阪店 10月以降、追加投入している売れ筋の売り上げに占めるシェアが高まっている。12月末に控える

セールまで機会ロスしないよう仕込み続ける。昨年の販売データから、秋から継続する売れ筋はセールまで通用する。オーバーサイズのワンピースにボリュームアウターを羽織るなどしてトップは大きめに。ボトムはコンパクトなショートパンツやキュロットを合わせる。4000円台と買いやすい巻き物や帽子をアクセントに客単価も上げる。

◇フェイ・ヒストリー天神店 今年前半のシークレットセールの後、月半ばから全館セールが始まって年明けになれ込む見通し。そのため12月の商材はセール品中心となりそう。ニットのコートやカーディガンなど軽く羽織れるものを中心に、アウター類の消化を進める。プロパ一品ではバッグや財布などが比較的堅調。クリスマスに向けてギフト需要が高まるため、引き続き小物類の提案を強める。